任せ方のズレ KPI記録シート

週間記録 ／ 職長の考えを聞く関わり方と、監督が代わりに決めた判断を振り返る

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

1　任せた判断範囲と、相談を受けたときの支援方法を決める

対象の仕事・職長に任せた判断範囲：

判断の基準（目的・完成基準・期限など、判断のよりどころ）：

職長の考えを聞く問い（どう進めたいか・その理由・気になる点）：

支援方法（情報・選択肢の整理など）／監督が判断を引き取る条件：

2　終業時に記録する

プロセスKPI：任せた範囲の相談で、職長の考えを聞いてから判断を支援できた回数

結果KPI：任せた範囲の判断を、監督が代わりに決めた件数

日付	職長の考えを聞いて 判断を支援できた回数	任せた範囲の判断を 監督が代わりに決めた件数	相談内容・職長の考え・支援内容 最終判断者・監督が決めた理由
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
合計	回	件	

※ 回数：職長の考えを聞き、情報や選択肢の整理などで判断を支援できた相談を1回。同じ相談は重複計上しません。
※ 件数：任せた範囲内で、監督が代わりに最終判断した案件を1件。助言のみで職長が決めたものは含めません。
※ 支援後に監督が決めた場合は両方に記録。必要な介入も理由を残します。範囲外は除外。該当なしは「0」。

3　気づきと、次に問いかけ・判断支援・任せる範囲を見直すこと

人を責めるためではなく、職長が考えて決められる関わり方を見直すために使います。必要な介入はためらいません。